

資料4

国立国際医療センター

国立国際医療センターの概要

平成5年国立病院医療センター
と国立療養所中野病院との統
合により設立

平成20年国府台病院と統合

総長



戸山(看護大含む)

病床数	925
外来患者数	1600
職員総数	1478
医師	171
臨床研修医	225
看護師	634
医療技士	114
事務職	72
技能職	31

エイズ治療研究・
開発センター
(平成九年四月一日)

国際疾病センター
(平成十六年十月一日)

国際臨床研究センター
(平成十八年十月一日)

糖尿病・代謝性疾患診療
部など
(平成二十年十月一日)

肝炎・免疫研究センター
(平成二十年十月一日)

国府台

病床数	772
外来患者数	720
職員総数	438
医師	54
臨床研修医	39
看護師	206
医療技士	47
事務職	27
技能職	13

国立国際医療センターの役割

役割

標準医療の確立
先駆的医療開発
医療の均てん化
人材育成
政策提言

政策医療の19分野

- ①がん ②循環器病 ③精神疾患
- ④神経・筋疾患(筋ジスを含む)
- ⑤成育 ⑥呼吸器疾患(結核を含む)
- ⑦免疫異常 ⑧重心 ⑨腎疾患
- ⑩内分泌・代謝疾患 ⑪感覚器疾患
- ⑫骨運動器疾患 ⑬血液・造血器疾患
- ⑭肝疾患 ⑮エイズ ⑯長寿医療
- ⑰災害医療 ⑱国際医療協力
- ⑲国際的感染症

国立国際医療センター病院の基本構造

感染症

糖尿病・
代謝性疾患

肝炎・
免疫疾患

国際医療協力 臨床研究・橋渡し研究

高度専門・総合医療

一日1,600名の外来患者の受け入れ、年間11,000件の手術を実施(戸山)

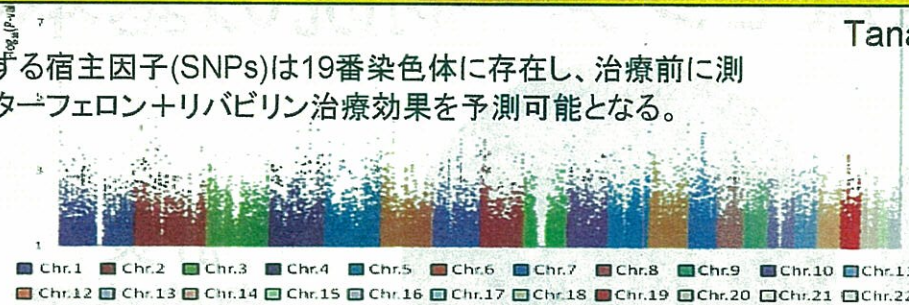
月平均1,000名のエイズ患者、年間8,000-9,000台の救急車受け入れ(戸山)

児童精神科・精神科救急の実施、肝炎・免疫研究センターを整備(国府台)

ウイルス肝炎治療の有効性を遺伝子診断により治療前に判定

治療効果を規定する宿主因子(SNPs)は19番染色体に存在し、治療前に測定することでインターフェロン+リバビリン治療効果を予測可能となる。

Tanaka et al: Nat Genet 41:1048-50,2009



海外拠点との共同研究によりH5N1(鳥インフルエンザ)迅速診断キットを開発



判定ライン出現の有無で誰でも判定可能



- ベトナムで新開発迅速キットにより感染患者の特定に世界で初めて成功した。
- ウイルス変異の影響も実質的に皆無であることを確認済み。

II型糖尿病関連遺伝子の中でも人種を越えて最も重要な遺伝子の一つを同定

2型糖尿病遺伝子を特定 Yasuda et al: Nat Genet 40:1039-40,2008

糖尿病患者者 遺伝子に特徴
国内2チーム 別々に発見

朝日

【東京】糖尿病の発症に関与する遺伝子として、日本人と欧米人の両方で共通する遺伝子が見つかった。国内2つの研究チームが、別々にこの遺伝子を見つけた。この遺伝子は、インスリンの分泌を促進する作用があり、糖尿病の発症リスクを低下させることが知られている。研究チームは、この遺伝子の多型が、日本人と欧米人の両方で共通していることを確認した。これは、糖尿病の発症に関与する遺伝子が、人種を超えて共通していることを示している。研究チームは、この遺伝子の多型が、糖尿病の発症リスクを低下させることが知られていることを確認した。これは、糖尿病の発症に関与する遺伝子が、人種を超えて共通していることを示している。

2型糖尿病遺伝子を特定

毎日

「糖尿病遺伝子」を発見

読売

【東京】糖尿病の発症に関与する遺伝子として、日本人と欧米人の両方で共通する遺伝子が見つかった。国内2つの研究チームが、別々にこの遺伝子を見つけた。この遺伝子は、インスリンの分泌を促進する作用があり、糖尿病の発症リスクを低下させることが知られている。研究チームは、この遺伝子の多型が、日本人と欧米人の両方で共通していることを確認した。これは、糖尿病の発症に関与する遺伝子が、人種を超えて共通していることを示している。

発症関与の新遺伝子
危険性3.4割高く

日経

科学

【東京】糖尿病の発症に関与する遺伝子として、日本人と欧米人の両方で共通する遺伝子が見つかった。国内2つの研究チームが、別々にこの遺伝子を見つけた。この遺伝子は、インスリンの分泌を促進する作用があり、糖尿病の発症リスクを低下させることが知られている。研究チームは、この遺伝子の多型が、日本人と欧米人の両方で共通していることを確認した。これは、糖尿病の発症に関与する遺伝子が、人種を超えて共通していることを示している。

国際医療協力局



- 国際機関/JICAとの開発途上国に対する国際保健医療協力事業の実施(母子保健、感染症対策、保健システム強化・緊急援助)
- 国際保健医療に関する情報提供
- 国際保健医療協力に関する国内外の専門家の育成
- 国際保健医療協力機関間のネットワーク構築



年間160-180名の専門家を派遣

看護大学校



- 高い臨床看護実践能力、臨床看護研究能力を備えた看護師の育成
- 国際医療協力に貢献できる看護師の養成
- 国立高度専門医療センターにおける将来の幹部看護職員の育成



IMCJ から NCGMへ



National Center for Global Health and Medicine



平成22年度完成予定



平成23年度完成予定

参考資料4

国立国際医療センター

資料目次

1	国立国際医療センター概要	1
2	国府台病院の沿革と概況等	3
3	1日平均患者数	6
4	1人1日当たり診療点数	8
5	A C C関係資料（患者数の推移等）	10
6	D C C関係資料（渡航者外来受診者数等）	11
7	救急外来受診患者数	12
8	国際医療協力局の活動実績	13
9	国立看護大学校の概要	15
10	定員現員表	18
11	平成20・21年度予算	19

国立国際医療センター

概要

我が国の医療分野における国際貢献の中核的機関として、感染症等国際的な調査研究が必要な疾病についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修を行うために、平成5年10月に国立病院医療センターと国立療養所中野病院を統合して設置。

平成20年4月には、肝炎対策の一環として研修や診療の助言を行い、全国の医療機関に対して国内外の医療情報を提供する組織として国立精神・神経センター国府台病院を統合。

組織・病床数等

東京都新宿区	運営局	国際医療協力局	戸山病院（病床数925床）	研究所（14部36室）
千葉県市川市	運営局		国府台病院（病床数719床）	

平成21年度予算額

35,196百万円

平成21年度末定員数

1,527人

（うち医師242人、看護師897人）

主な取組み

(1) 診断・治療

- 特に、エイズに関しては、HIV訴訟の和解を踏まえ、恒久対策の一環として平成9年4月1日、国立国際医療センター病院に「エイズ治療・研究開発センター」を設置し、最先端医療を行いつつ、新しい治療法開発のための臨床研究を行っている。また、日本におけるHIV感染症の医療水準の向上を図るために、最先端の医療情報の提供や、医療従事者に対する研修を行っている。
- 感染症に関しては国際的感染症の医療提供の中心的施設として、新感染症の患者の入院医療を担当できる病床の整備を行い、特定感染症指定医療機関となっている。
また、新興感染症等の蔓延の防止のため、国内外に迅速に専門家チームを派遣し、適切な判断による新興感染症等の診断・治療・発生原因の究明を行うとともに、海外渡航者への健康相談等及び海外の医療情報を提供するため、平成16年10月に「国際疾病センター」を病院内に設置した。
- さらに近年、国家的緊急課題として位置づけられた、メタボリックシンドロームの克服のために2次予防を中心とした、先駆的医療の臨床応用・推進、個別化診療を推進するための疾患医療管理及び関連複合疾患に対する統括的な医療対策を実施している。
- なお、戸山病院については、現在の老朽かつ狭隘化した建物では、医療技術の進展等に適切に対応することが困難となり、専門医療分野において我が国の医療を代表するナショナルセンターとしての機能が十分に果たせない状況となってきたことから、病棟更新築整備を行っているところである。

(2) 研究

- 開発途上国では様々な感染症が多くの人命を脅かしている。一方で、途上国の経済発展に伴う糖尿病等の代謝性疾患も重要となってきており、その制御のための基礎的、臨床的研究を推進している。
- 医療における国際協力をそれぞれの国に適した実効あるものとするためには疾病が蔓延する社会的背景（難民の流出、環境条件の違い、宗教・文化）が重要であることから、社会学的調査研究を推進している。
- 諸外国の医療情報や患者情報を収集し、国際共同研究を展開すること、及び国内における大規模臨床試験・大規模コホート研究の活性化のための中心的役割を担い研究開発を推進することは、国際医療協力及び高度総合医療を担当する国立国際医療センターに科せられた重要な課題である。
これらの課題を克服するために、研究所に平成18年10月に「国際臨床研究センター」を設置した。
- 海外の医療技術に依存しながら維持してきたこれまでの肝炎医療から安全性と有効性を担保した自己完結的な医療開発システムの構築を実施し、先端医療の創造と検証、有効な医療（予防・診断・治療・QOLの改善）を実現するため、

国府台病院に平成20年10月に「肝炎・免疫研究センター」を設置。

(3) 教育研修

- ・ 卒後2年間の臨床研修の実施、3年間の感染症の専門的な知識と技能を有する医師を育成するレジデント制度の実施、更に、2年間の高度で先進的な知識と技能を持つ専門医を育成する感染症専門修練医制度を実施している。

(4) 国際医療協力

- ・ 海外派遣については、開発途上国における保健医療プロジェクト（母子保健、地域保健、感染症対策等）に積極的に参加し、これまでに53（22ヶ国）の技術協力プロジェクトで中心的な役割を果たし、協力や調査を行っており、延べ約1,900名が派遣されている。
また、平成15年にはSARSが流行したベトナム、中国（広東省、北京）へ医師を派遣し、SARSの制圧に貢献した。
- ・ 開発途上国の医療関係者の日本での研修についても、延べ約2,500名の受け入れを行っている。

沿革と概況

沿革

昭和20年12月 1日 国立国府台病院が発足

昭和62年 4月 1日 国立精神・神経センターと統合(再編成計画)

平成13年 4月 1日 附属看護学校を閉校

平成17年 3月31日 精神保健研究所が武蔵へ移転

平成17年 7月19日 平成19年5月に経営移譲、売却を計画

平成18年 7月 3日 売却計画を撤回し、存続が決定

平成20年 4月 1日 国立国際医療センター国府台病院として組織再編

平成20年10月 1日 肝炎・免疫研究センターを設置

平成22年 4月 1日 独立行政法人国立国際医療研究センター国府台病院
となる予定

総合病院

精神・神経センター

廃止計画

廃止撤回

一般診療及
び肝炎免疫を
軸とする病院

ベット数

医療法 772床

収容可能 353床(一般5ヶ病棟218床、精神3ヶ病棟135床)

敷地

敷地面積 97,471m²

職員定員

447名

病院の特色

一般外来

地域に開かれた高度で先進的な医療拠点を目指しています。

各種専門外来

一般外来に加えて、総合内科、糖尿病、内分泌・代謝、呼吸器疾患、感染症、腎臓疾患、血液疾患、消化器疾患、内視鏡、肝臓・肝疾患、リウマチ・膠原病、骨粗鬆症、頸椎症、養護外来、睡眠障害の専門外来を実施しています。

特徴ある診療事業

心療内科による神経性食欲不振症などの摂食障害

精神科による身体症状及び服薬管理並びに家族支援のための訪問看護

児童精神科による子どもの心の問題ネットワーク市川モデル事業

肝炎・免疫分野の拠点

我が国の肝炎・免疫分野をリードする肝炎・免疫研究センターの整備を進めると共に、肝炎・免疫疾患に関する高度専門医療の分野の推進・強化を図ることとしています。

やさしさがあふれる病院

人にやさしい医療の理想像を求めて

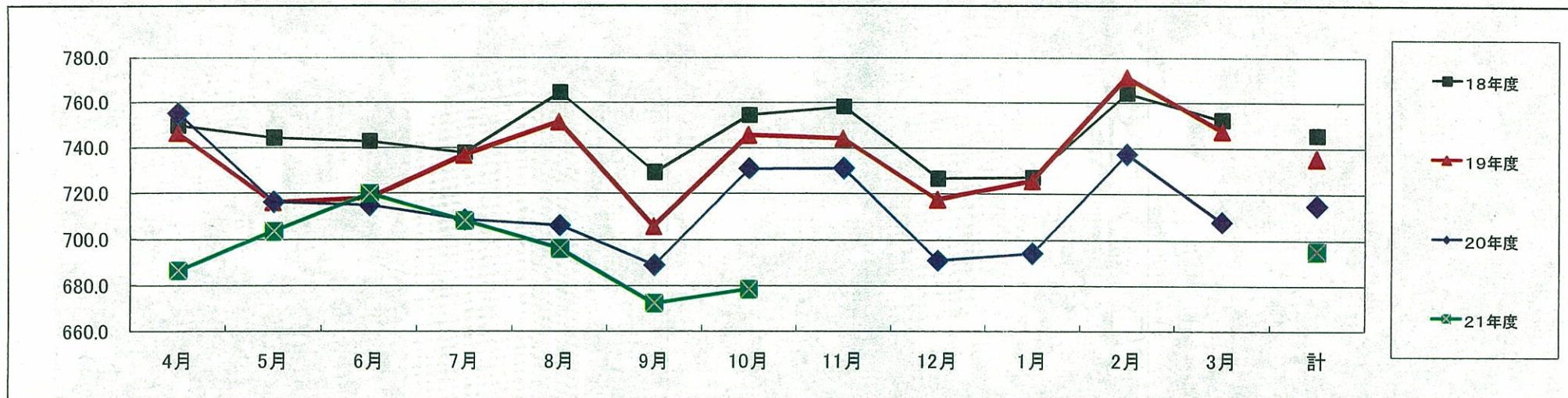
訪れる人々の健康ニーズや病気の悩みに応えられる総合医療を推進しています。

国立国際医療センター 国府台病院



平成18年度～平成21年度 1日平均患者数

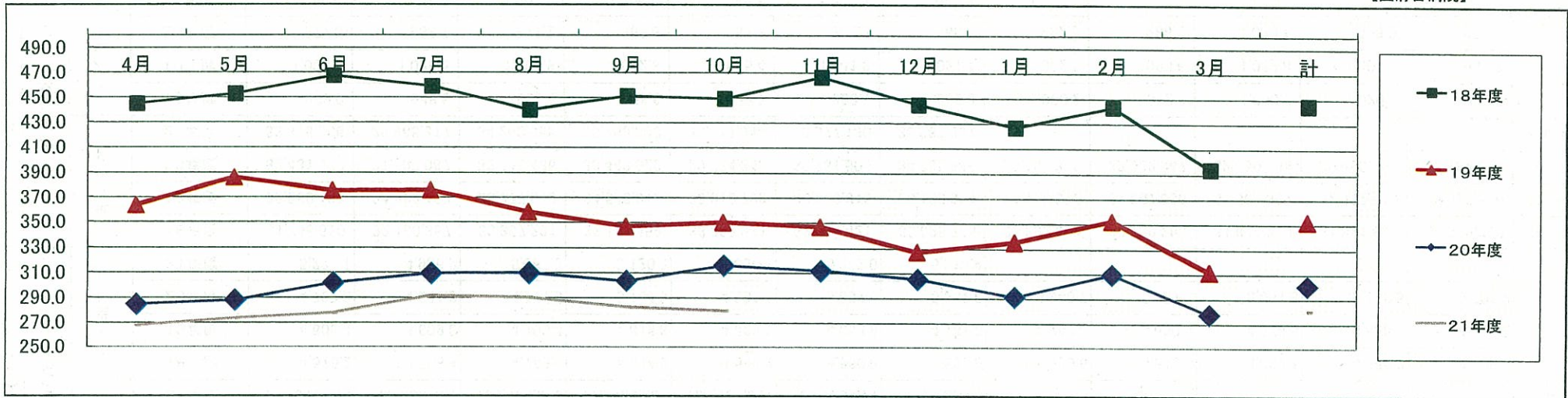
【戸山病院】



区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入	患者数	18年度	749.8	744.4	742.9	737.8	764.4	729.5	754.5	758.2	726.9	727.3	764.3	752.4	745.9
		19年度	746.3	716.1	717.8	736.9	751.4	705.8	745.6	744.2	717.5	725.8	771.1	747.4	735.4
		20年度	755.2	716.3	714.8	708.5	706.1	688.8	731.0	731.2	690.8	694.0	737.4	707.8	714.9
		21年度	686.4	703.5	720.0	708.2	696.1	672.3	678.4						695.0
院	在院日数	18年度	16.1	16.4	15.5	16.1	16.7	16.1	16.9	17.1	16.2	17.2	17.5	17.0	16.5
		19年度	16.7	16.0	16.1	16.5	15.7	16.3	16.2	16.1	16.1	17.1	16.4	16.6	16.3
		20年度	16.5	16.7	16.6	14.8	15.6	15.7	15.5	16.3	15.2	15.9	16.8	15.4	15.9
		21年度	14.5	17.0	15.5	15.1	15.7	14.8	15.6						15.4
外 来	患者数	18年度	1,639.7	1,695.3	1,577.0	1,675.5	1,480.7	1,629.2	1,652.0	1,664.4	1,683.6	1,666.2	1,640.8	1,646.2	1,635.1
		19年度	1,603.2	1,618.9	1,595.9	1,640.4	1,470.4	1,647.9	1,606.8	1,576.7	1,711.6	1,660.9	1,618.9	1,674.3	1,615.9
		20年度	1,579.9	1,593.3	1,590.8	1,567.8	1,465.0	1,597.9	1,610.0	1,632.1	1,757.4	1,669.5	1,611.2	1,622.6	1,606.0
		21年度	1,606.0	1,673.9	1,548.9	1,592.6	1,524.2	1,696.1	1,620.7						1,605.8

平成18年度～平成21年度 1日平均患者数

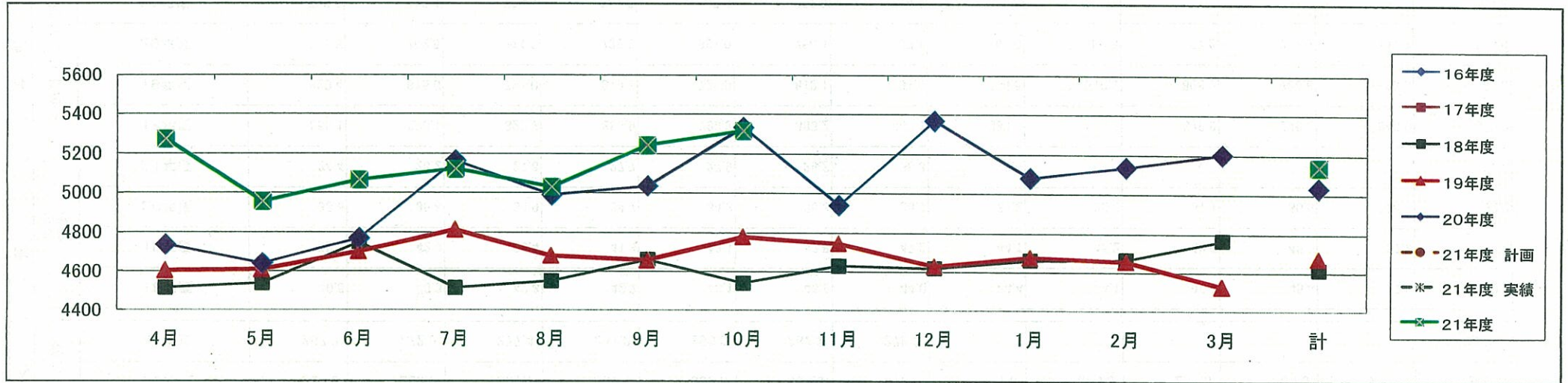
【国府台病院】



区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入	1日平均患者数	18年度	444.6	452.4	467.2	458.7	439.8	451.0	448.8	466.3	444.4	426.8	442.8	393.8	444.6
		19年度	363.6	385.9	375.3	375.6	358.4	347.0	350.4	347.1	327.3	335.3	352.2	311.7	352.4
		20年度	284.8	288.0	301.7	309.4	309.8	303.6	316.0	311.8	305.3	291.3	309.6	277.5	300.7
		21年度	267.3	272.9	277.4	291.2	290.0	282.2	279.3						280.1
院	在院日数	18年度	40.5	43.3	42.8	42.7	43.1	46.9	44.0	44.4	44.1	46.6	45.4	37.9	43.2
		19年度	42.3	42.8	38.4	41.8	43.1	42.8	47.2	44.1	45.2	49.0	46.5	37.9	43.2
		20年度	33.6	35.8	34.9	34.7	34.3	35.3	28.7	31.2	32.4	31.1	30.9	24.8	32.2
		21年度	24.4	28.2	27.6	27.7	27.9	29.2	28.3	29.6					27.8
外 来	1日平均患者数	18年度	855.1	873.1	822.7	883.9	798.3	885.2	887.1	884.0	870.7	879.9	849.8	846.0	860.2
		19年度	820.4	815.0	791.0	819.1	728.9	818.1	791.5	764.5	810.9	808.9	780.6	783.5	793.3
		20年度	719.5	762.5	711.5	739.9	681.0	758.4	757.1	767.0	792.3	757.2	742.9	747.7	743.9
		21年度	753.9	815.4	726.5	761.5	707.9	822.9	758.4						761.6

平成18年度～平成21年度 一人1日当たり診療点数

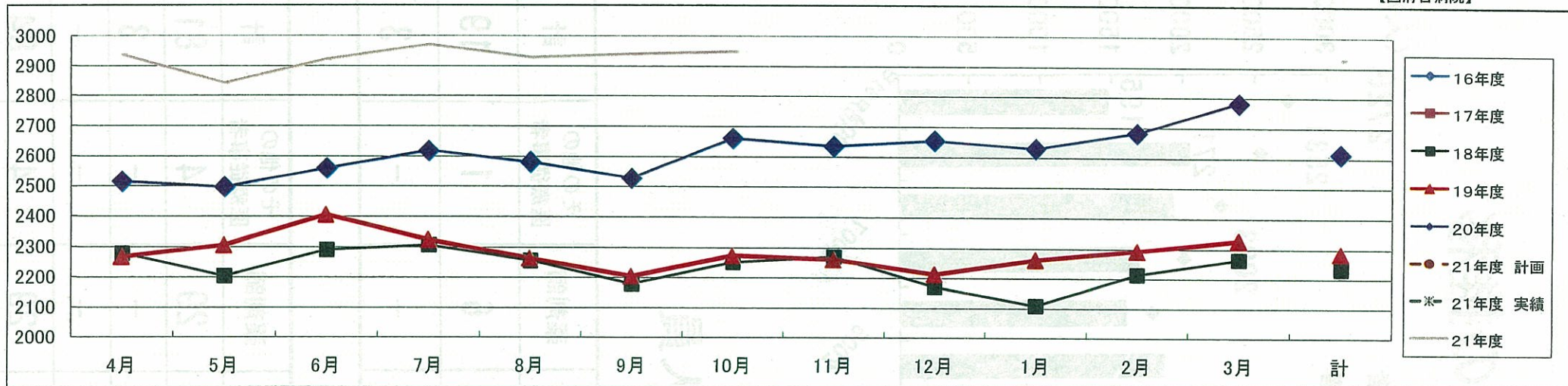
【戸山病院】



区		分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入院	診療点数	延べ点数	18年度	101,559,421	104,733,087	105,855,195	103,269,468	107,803,449	101,993,576	106,155,820	105,300,271	104,081,024	105,111,647	99,861,878	111,180,114	1,256,904,950
		19年度	103,114,569	102,319,374	101,287,930	110,006,840	109,077,764	98,643,346	110,528,303	105,998,644	103,000,204	105,215,991	104,178,631	104,886,559	1,258,258,155	
		20年度	107,335,932	103,056,818	102,331,153	113,446,321	109,249,888	104,101,608	120,852,747	108,375,208	114,936,291	109,329,176	106,059,036	114,125,796	1,313,199,974	
		21年度	108,541,589	108,090,457	109,454,375	112,430,287	108,557,947	105,720,271	111,772,140						764,567,066	
	一人当たり	18年度	4,515.2	4,538.4	4,749.6	4,514.9	4,549.2	4,660.6	4,538.9	4,629.6	4,618.8	4,662.1	4,666.7	4,766.8	4,616.8	
	19年度	4,605.4	4,609.0	4,703.4	4,815.8	4,683.1	4,658.9	4,781.9	4,747.8	4,630.9	4,676.5	4,658.5	4,527.0	4,675.0		
	20年度	4,737.8	4,641.2	4,771.8	5,164.9	4,991.1	5,037.6	5,332.8	4,940.7	5,367.3	5,081.8	5,136.5	5,201.2	5,032.6		
	21年度	5,271.1	4,956.2	5,067.3	5,120.9	5,030.7	5,242.0	5,314.9						5,140.5		
外来	診療点数	延べ点数	18年度	31,745,510	32,160,357	33,357,291	32,123,459	33,327,931	32,031,421	33,626,765	33,293,804	32,759,289	31,674,923	31,821,893	34,319,892	392,242,535
		19年度	32,250,183	34,862,457	33,777,843	34,546,015	35,016,792	30,903,015	36,105,314	34,188,572	32,507,036	31,961,997	32,412,610	33,023,530	401,555,364	
		20年度	32,431,973	31,507,087	32,445,436	33,443,022	29,774,343	30,781,600	34,205,846	29,156,339	32,932,947	32,050,794	30,489,060	33,784,396	383,002,843	
		21年度	33,375,266	29,985,317	34,202,955	35,769,383	33,717,944	33,377,130	35,981,361						236,409,356	
	一人当たり	18年度	968.0	948.5	961.4	958.6	978.7	983.1	969.3	1,000.2	972.9	1,000.6	1,020.7	992.8	979.1	
	19年度	1,005.8	1,025.5	1,007.9	1,002.8	1,035.4	1,041.8	1,021.4	1,032.6	999.6	1,012.8	1,001.1	986.2	1,014.3		
	20年度	977.5	988.7	971.2	969.6	967.8	963.2	965.7	992.5	986.3	1,010.4	996.0	991.5	981.4		
	21年度	989.6	995.2	1,003.8	1,020.9	1,053.4	1,035.7	1,057.2						1,022.4		

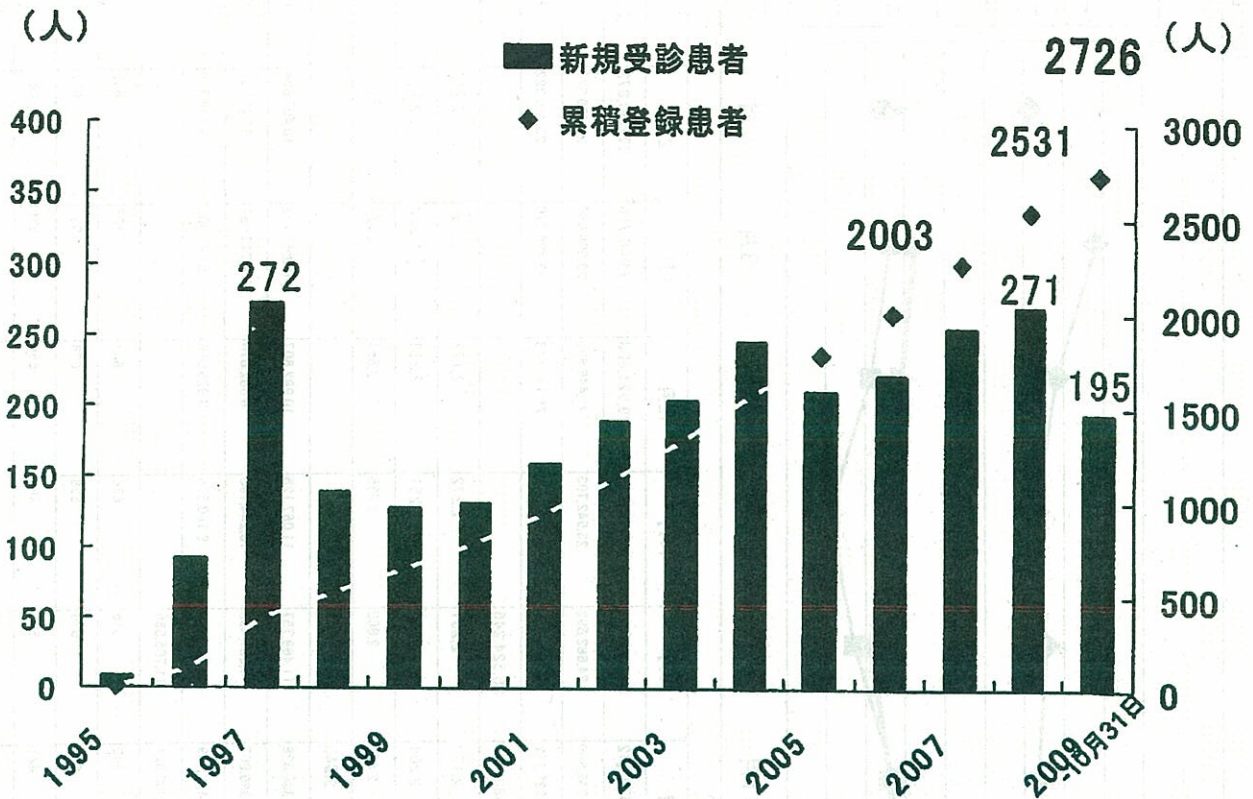
平成18年度～平成21年度 一人1日当たり診療点数

【国府台病院】



区		分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入院	診療点数	延べ点数	18年度	30,392,580	30,916,780	32,100,840	32,813,945	30,757,189	29,478,042	31,318,041	31,779,960	29,921,803	27,900,716	27,450,872	27,654,428	362,485,196
		19年度	24,726,158	27,580,292	27,094,320	27,064,760	25,141,981	22,942,890	24,682,592	23,542,793	22,446,620	23,508,656	23,409,829	22,491,847	294,632,738	
		20年度	21,498,780	22,297,094	23,169,781	25,113,914	24,792,637	23,022,172	26,059,126	24,644,168	25,110,443	23,735,270	23,240,322	23,922,069	286,605,776	
		21年度	23,545,105	24,030,363	24,318,709	26,819,187	26,329,686	24,888,126	25,524,246							175,455,422
	一人当たり	18年度	2,279	2,205	2,291	2,307	2,256	2,179	2,251	2,272	2,272	2,172	2,109	2,214	2,265	2,234
		19年度	2,267	2,305	2,407	2,324	2,263	2,204	2,272	2,261	2,213	2,262	2,292	2,328	2,284	
		20年度	2,516	2,497	2,560	2,618	2,582	2,528	2,660	2,635	2,654	2,629	2,681	2,781	2,612	
		21年度	2,936	2,841	2,922	2,971	2,929	2,940	2,948							2,927
外来	診療点数	延べ点数	18年度	10,453,310	10,810,091	11,420,643	10,861,646	11,235,012	11,330,628	11,469,757	11,067,125	10,982,607	10,663,132	10,407,664	11,223,636	131,925,251
		19年度	10,493,723	10,788,730	10,816,131	10,860,010	10,683,599	9,399,907	11,081,458	10,244,195	9,682,070	9,713,052	9,946,505	10,079,417	123,788,797	
		20年度	9,262,193	9,401,638	9,286,513	10,354,183	8,941,274	9,412,189	10,919,062	9,160,375	9,925,050	9,461,302	9,349,349	10,590,945	116,064,073	
		21年度	10,893,285	9,768,480	10,850,398	11,755,939	10,274,810	11,303,824	11,705,556							76,552,292
	一人当たり	18年度	611	619	631	615	612	640	616	626	631	638	645	632	626	
		19年度	640	630	651	631	637	638	636	638	628	632	637	643	637	
		20年度	613	617	622	636	625	621	656	664	659	658	662	675	642	
		21年度	688	666	679	702	691	723	735							698

ACC患者数の推移



ACC研修参加人員

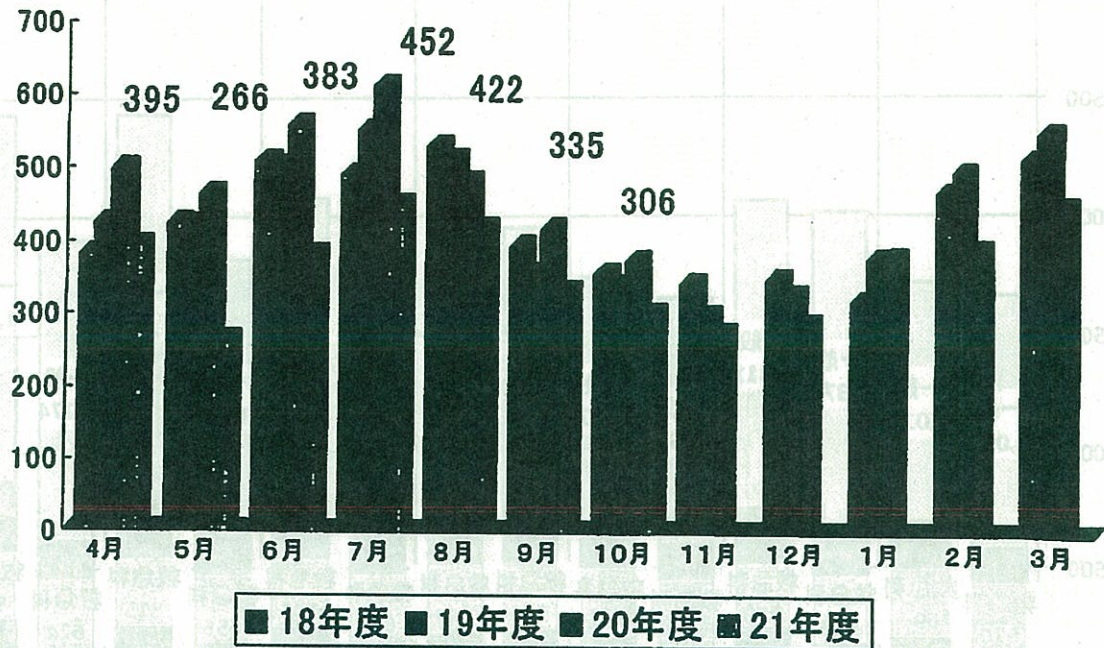
平成21年10月実施分

	医師	看護師	歯科医師	薬剤師	その他の医療従事者	計
1週間コース (10月5日～9日)	3	6	3	6	1	19
1カ月コース (10月5日～30日)	-	3	-	-	-	3

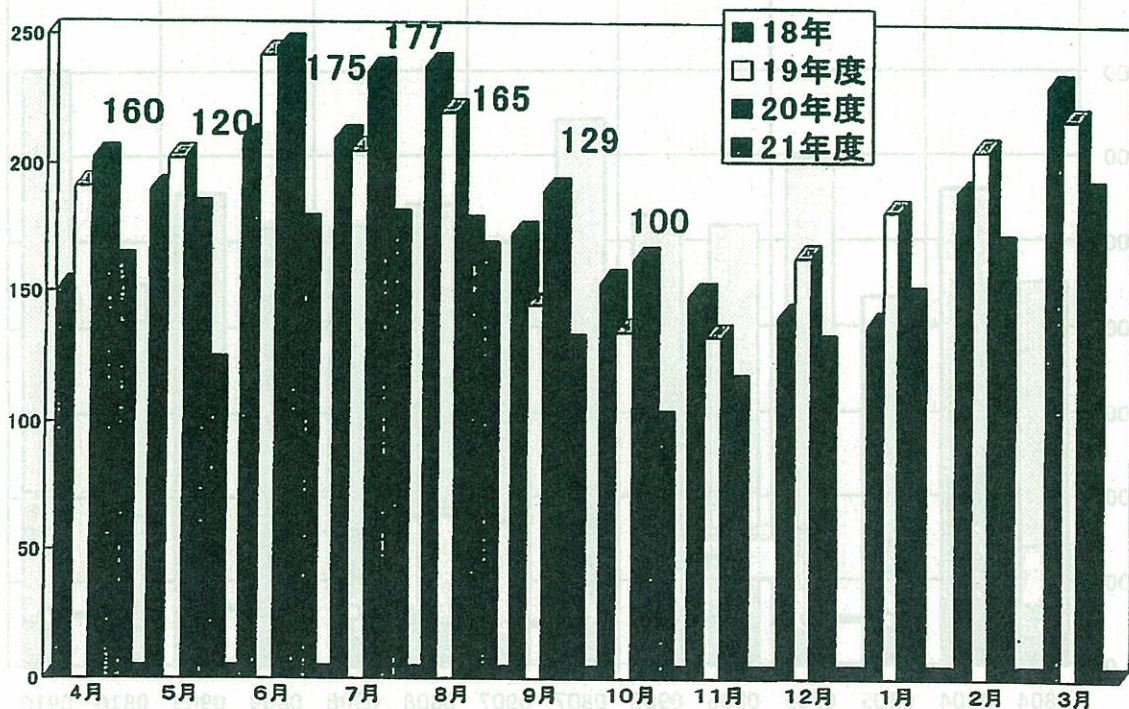
平成21年度 累計

	医師	看護師	歯科医師	薬剤師	その他の医療従事者	計
1週間コース	17	22	9	29	4	81
1カ月コース	-	3	-	-	-	3
2日間コース	-	-	-	-	-	-
計	17	25	9	29	4	84

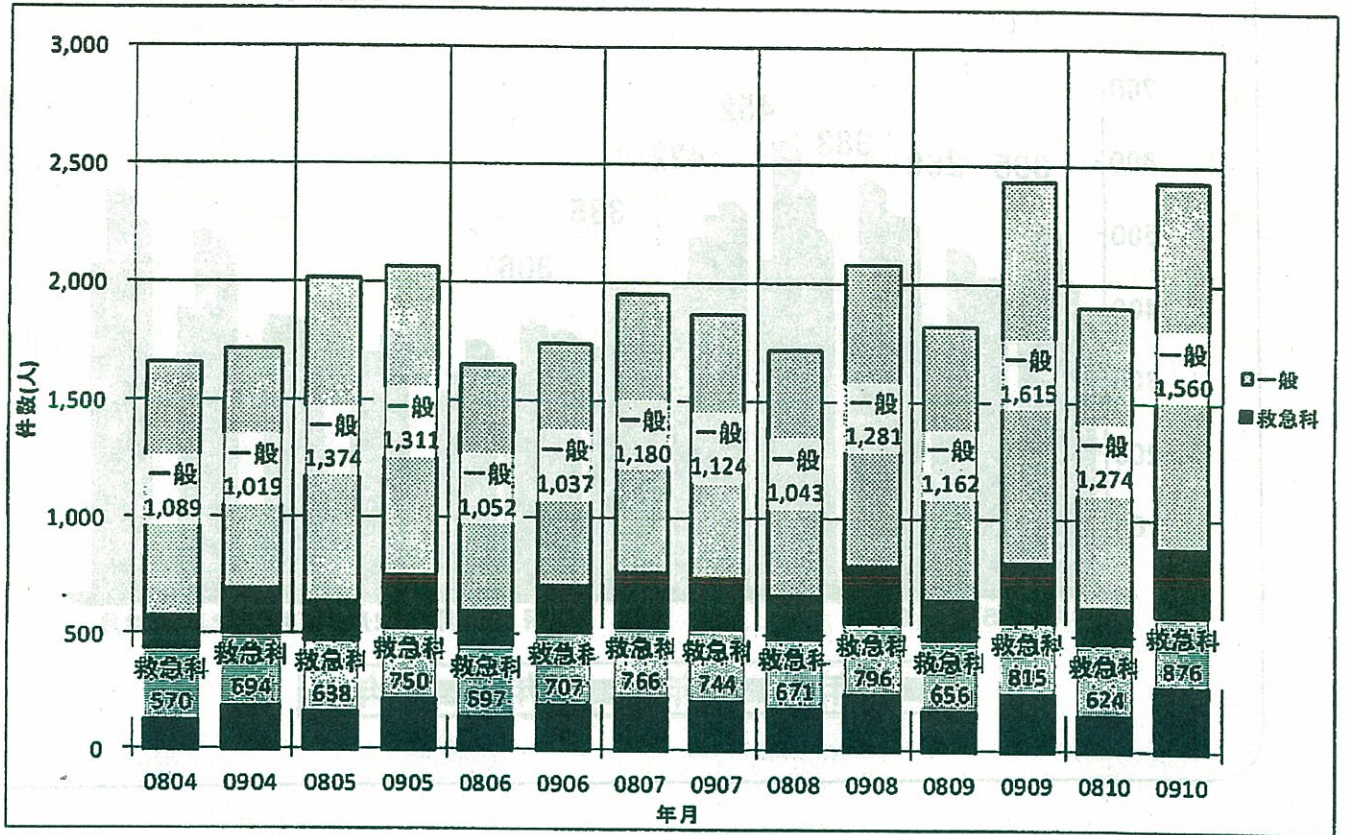
渡航者外来総受診者数



初診者数推移

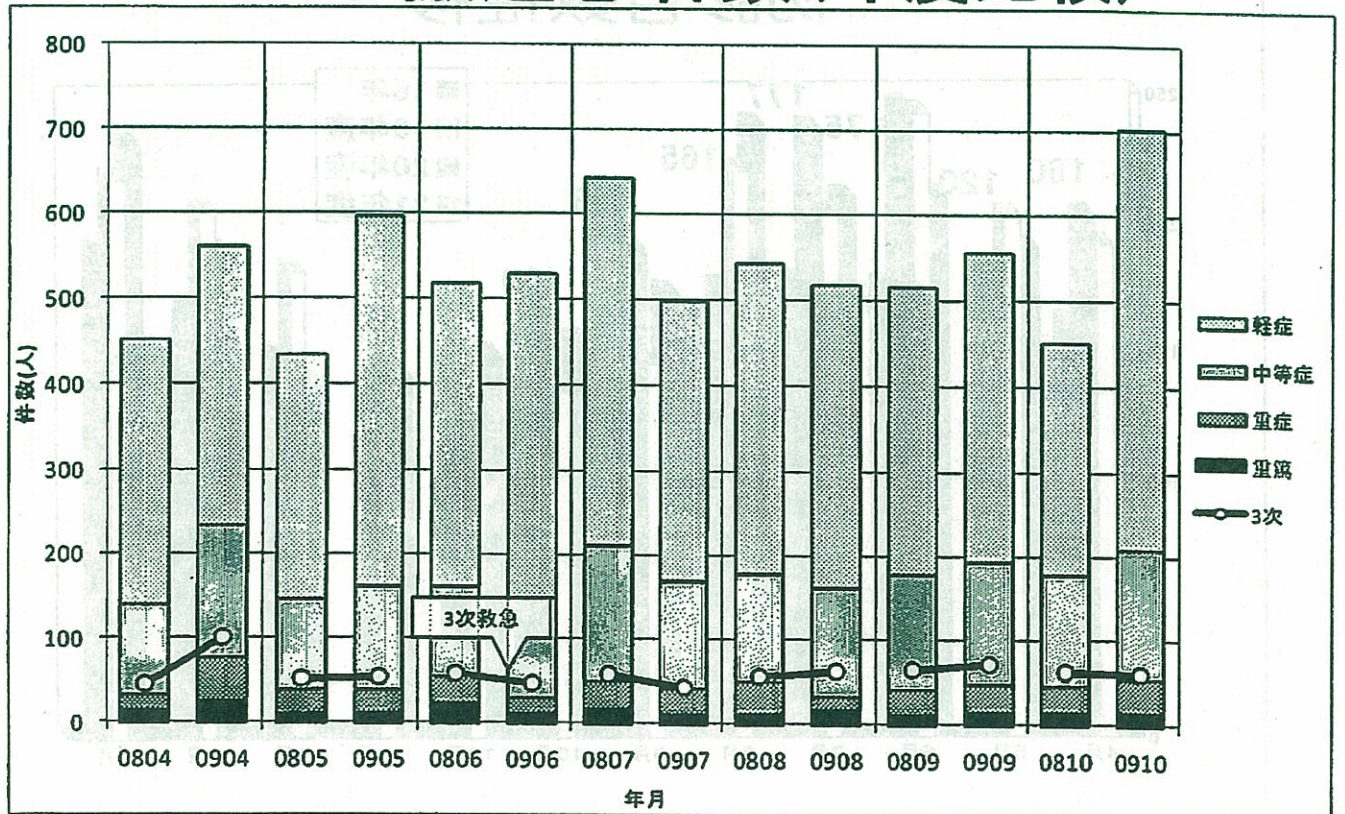


救急外来受診患者数(年度比較)



重症度別

救急搬送患者数(年度比較)



国際医療協力局の活動実績

国際医療協力局は、各部門の協力を得ながら、開発途上国における保健医療分野の国際貢献の為に、医師や看護師などの専門家の派遣や人材育成、相手国からの研修員の受け入れ及び国際医療協力の調査・研究を行っている。

(1) 海外派遣の実績

技術協力	(平成18年度)	(平成19年度)	(平成20年度)
長期派遣専門家(1年以上)	29人	31人	23人
短期派遣専門家	132人	132人	162人

ア. これまでに実施したプロジェクト(30件)

・サンタクルス総合病院プロジェクト	(ボリビア)
・リウマチ熱・リウマチ性心疾患抑制プロジェクト	(バングラデシュ)
・家族計画・母子保健プロジェクト	(エジプト)
・ポリオ対策プロジェクト	(中国)
・医学教育プロジェクト	(ネパール)
・公衆衛生プロジェクト	(タイ)
・日本・WHO公衆衛生プロジェクト	(ラオス)
・サンタクルス医療供給システムプロジェクト	(ボリビア)
・東北ブラジル公衆衛生プロジェクト	(ブラジル)
・チョーライ病院プロジェクト	(ベトナム)
・母子保健プロジェクト	(カンボジア)
・母子保健プロジェクト	(パキスタン)
・小児感染症予防プロジェクト	(ラオス)
・南スラウェシ地域保健強化プロジェクト	(インドネシア)
・エイズ予防地域ケアネットワークプロジェクト	(タイ)
・マダガスカル大学病院センター総合改善プロジェクト	(マダガスカル)
・新興下痢症対策プロジェクト	(インド)
・結核対策プロジェクト	(イエメン)
・リプロダクティブヘルス人材開発プロジェクト	(バングラデシュ)
・バックマイ病院プロジェクト	(ベトナム)
・国際寄生虫対策アジアセンタープロジェクト	(タイ)
・母子保健プロジェクト(II)	(カンボジア)
・ハンセン病対策・基礎保健サービス改善プロジェクト	(ミャンマー)
・第7保健地域リプロダクティブヘルス向上プロジェクト	(ホンジュラス)
・予防接種事業強化プロジェクト	(中国)
・保健人材開発促進プロジェクト	(セネガル)
・サンタクルス県地域保健ネットワーク強化プロジェクト	(ボリビア)
・子どものための保健サービス強化プロジェクト	(ラオス)
・マダガスカル大学病院センターを基軸とした州母子保健改善プロジェクト	(マダガスカル)
・国際寄生虫対策プロジェクトアドバイザー	(タイ)

イ. 実施プロジェクト(20件)

・人材養成強化プロジェクト	(カンボジア)
・東北ブラジル健康なまちづくりプロジェクト	(ブラジル)
・南部地域医療人材能力向上プロジェクト	(ベトナム)
・バックマイ病院地方医療人材研修能力強化プロジェクト	(ベトナム)
・リプロダクティブヘルスプロジェクト	(アフガニスタン)
・三大感染症プロジェクト	(ミャンマー)
・マシゴン州HIV母子感染予防プロジェクト	(ジンバブエ)
・中部地域保健強化プロジェクト	(ベトナム)
・ホアビン省保健医療サービス強化プロジェクト	(ベトナム)
・EPIポリオコントロールプロジェクト	(パキスタン)
・保健セクター事業調整能力強化プロジェクト	(ラオス)
・母子保健向上プロジェクト	(カンボジア)
・HIV/エイズケアサービス強化プロジェクト	(ザンビア)
・ワクチン予防可能感染症サービス向上及びコントロール強化プロジェクト	(中国)
・マダガスカル共和国母子保健サービス改善プロジェクト	(マダガスカル)
・保健医療協力計画アドバイザー	(タイ)
・保健省アドバイザー	(ベトナム)
・保健省アドバイザー	(インドネシア)

- ・地域保健システム向上プロジェクト (ボリビア)
- ・鳥インフルエンザ・サーバルシステム強化プロジェクト (インドネシア)

ウ. 計画プロジェクト (3件)

- ・基礎保健スタッフ強化 (人材育成) プロジェクト (ミャンマー)
- ・ツバクワ州母子保健サービス改善プロジェクト (セネガル)
- ・医療施設運営強化プロジェクト (ブルジン)

エ. 調査団への参加等

	(平成18年度)	(平成19年度)	(平成20年度)
・無償資金協力調査	9人	3人	11人
・社会開発調査等	12人	12人	14人
・JICA研修等	3人	6人	6人
・WHO会議等	25人	22人	18人

オ. 緊急援助

当センターは、海外の地域、特に開発途上国地域における大規模な災害に対して被災国又は国際機関からの要請に応じた国際緊急援助活動を行うことを目的とした国際緊急援助隊の医療活動に積極的に参加し、被災者に対する診療や防疫活動の技術的助言等を行っている。

近年の緊急援助活動

- ・在ペルー日本大使公邸占拠事件 (1996.12.22~1997. 5.7)
- ・インドネシア山火事災害国際緊急援助 (1997. 9.29~1997.10.10)
- ・インドネシア騒乱邦人救出支援 (1998. 5.18~1998. 5.28)
- ・バングラデッシュ洪水災害支援 (1998. 9.19~1998. 9.23)
- ・ニカラグア、ハリケーン災害救済緊急援助 (1998.11.12~1999. 1.25)
- ・コロンビア地震災害救済国際緊急援助 (1999. 1.28~1999. 2.10)
- ・コソボ紛争難民人道支援 (1999. 4.28~1999. 5.17)
- ・トルコ地震災害救済国際緊急援助 (1999. 8.18~1999. 8.31)
- ・キルギス拉致事件 (1999. 8.29~1999. 9.12)
- ・キルギス拉致事件 (1999. 9.21~1999.10.26)
- ・モザンビーク洪水災害救済国際緊急援助 (2000. 3.16~2000. 3.29)
- ・インドネシア地震災害救済国際緊急援助 (2000. 6. 7~2000. 6.20)
- ・エルサルバドル地震災害救済国際緊急援助 (2001. 1.15~2001. 1.28)
- ・ベトナムにおける非特定型肺炎の集団発生に
対する国際緊急援助隊専門家チーム (2003. 3.16~2003. 3.25)
- ・ベトナムにおける非特定型肺炎の集団発生に
対する国際緊急援助隊専門家チーム (2003. 3.26~2003. 4. 1)
- ・中日友好病院へ緊急援助チーム派遣 (SARS) (2003. 5.11~2003. 5.16)
- ・アルジェリア地震災害緊急援助チーム派遣 (2003. 5.25~2003.6. 7)
- ・スマトラ沖大地震及びインド洋津波災害緊急
援助チーム派遣 (タイ、スリランカ、インドネシア) (2004.12.30~2005. 1.24)
- ・スマトラ沖大地震及びインド洋津波被害政府
調査団に参加 (2005. 3.13~2005. 3.21)
- ・コリス島地震災害緊急援助チーム派遣 (インドネシア) (2005.4.7~2005.4.18)
- ・パキスタン地震災害緊急援助派遣 (2005.10.10~2005.11.2)
- ・インドネシア鳥インフルエンザに対する
プロジェクト形成調査に係る専門家派遣 (2005.11.13~2005.11.26)
- ・ジャワ島中部地震国際緊急援助隊派遣 (2006.5.29~2006.6.10)
- ・中国西部大地震に対する国際緊急援助医療チーム派遣
(2008.5.20~2008.6.2)
- ・ミャンマーサイクロン被害に係る国際緊急援助 (2008.5.29~2008.6.11)

(2) 研修員受入

ア. 海外からの受入

	(H18年度)	(H19年度)	(H20年度)
①個別研修			
カウンターパート研修	48人	36人	33人
一般個別研修	324人	204人	317人
②集団研修			
感染管理指導者養成研修	9人	9人	10人
母子保健(仏語圏アフリカ)研修	9人	9人	8人

イ. 国内における派遣専門家の養成

①国際医療協力人材養成研修	7人	10人	8人
②国際感染症等専門家養成研修	6人	8人	8人
③国際医療協力レジデント研修	4人	4人	4人

国立看護大学校の概要

1. 国立看護大学校看護学部の概要

(1) 設置の目的・機能

がん、循環器病等の高度先駆的医療や国際医療協力等の政策医療分野における看護を中心とした特色ある看護教育を行い、これら政策医療を実施する国立高度専門医療センターの職員になろうとする看護師等を養成する。

【主な機能】

- ① 教 育…高度な臨床看護実践能力、臨床看護研究能力を備えた職員の育成、国際医療協力に貢献できる職員の育成、国立高度専門医療センターにおける将来の幹部看護職員の育成
- ② 研 究…政策医療分野の看護学の確立に寄与するとともに、臨床看護の質的向上を図り、また看護研究実践センター、教材開発センターを設け、看護師や教官の研究活動を支援
- ③ 情報提供…図書館に情報センターを設け、看護学を中心とする情報の拠点として看護学に関する文献やデータを集積し情報提供
- ④ そ の 他…国民への健康教育、看護知識・看護技術の普及を目的に公開講座を開催

(2) 経緯

- ① 国立国際医療センターに国立看護大学校を設置（平成13年1月6日）
（助産婦・看護婦養成所の厚生大臣指定（平成12年12月1日））
- ② 大学評価・学位授与機構から、大学の学部に対応する課程の認定
（平成13年3月26日）
- ③ 開校式・第1期生入学式（平成13年4月9日）

(3) 教育内容・組織等

- ① 学生定員：400人（1学年定員100人）
- ② 修業年限：4年
- ③ 教官定員：教授、准教授、講師等で44人、臨床教員21人
- ④ 実習施設：国立国際医療センター戸山病院、国立国際医療センター国府台病院、国立がんセンター中央病院、国立がんセンター東病院、国立循環器病センター、国立精神・神経センター、国立成育医療センター、国立長寿医療センター
- ⑤ 資格等：大学と同等の教育を行い、卒業生は、看護師、助産師（選択者のみ）の国家試験受験資格及び卒業後申請により大学評価・学位授与機構から「学士（看護学）」の学位を取得できる。

(4) 学生籍状況

(平成 21 年 4 月 1 日現在)

	一年生	二年生	三年生	四年生
学生籍数	103	102	95	99

(5) 入学者選抜試験実施状況

	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
出願者数	1,023	857	497	486	549	533
受験者数	944	762	458	457	513	505
入学者数	100	100	100	100	100	100

2. 国立看護大学校研究課程部の概要

(1) 設置の目的

政策医療看護学に関する唯一の高等看護教育機関として、政策医療看護学の研究の推進とともに、政策医療看護学の教育・研究等を担う人材、国際医療協力において看護教育・研究等の指導者となる人材を育成する。また、国立看護大学校における教育研究基盤を確立する。

(2) 教育内容・組織等

- ① 学生定員：30人（1学年定員15人程度）
- ② 修業年限：2年
- ③ 研究指導教員：8人
- ④ 分野：国際看護・看護教育学、看護情報・管理学、成人看護学、精神看護学、成育看護学、長寿看護学
- ⑤ 資格等：大学院相当の教育を行い、修了後、大学評価・学位授与機構に申請し「修士（看護学）」の学位を取得できる。

(3) 学生在職状況

(平成 21 年 4 月 1 日現在)

	一年生	二年生
学生在職数	9	10

(4) 課程の修了者の進路

- ① 政策医療を担う医療機関において、政策医療臨床看護（研究）の指導的役割を担う看護職者
- ② 国立看護大学校その他中核となる看護師等養成所施設において、政策医療看護学の教育・研究を指導する教員
- ③ 国際医療協力における看護教育・研究の指導者

(5) 設置及び開設

設置：平成16年10月1日

開校：平成17年 4月9日

3. 国立看護大学校研修部の概要

国立高度専門医療センターの看護師等を対象に、政策医療の専門分野における、臨床看護実践能力、看護教育の質的向上を図り、政策医療分野の看護において指導的な役割を担う人材を育成する。

平成21年度は次の7コースを開設している。

(1) 認定看護師教育課程

- ① 「感染管理」コース
- ② 「皮膚・排泄ケア」コース

(2) 短期研修

- ① 臨床に役立つエビデンスの探し方
- ② 実践的ながん看護
～がん性疼痛看護・がん化学療法看護～
- ③ せん妄ケア
- ④ 認知症看護
- ⑤ 院内教育

国立国際医療センター一定員現員表 (H21.11.1)

(単位:人)

		戸山	国府台	合計
行 (一)	定員	69	27	96
	現員	72	27	99
行 (二)	定員	17	10	27
	現員	31	13	44
教 (一)	定員	44	—	44
	現員	42	—	42
研究職	定員	42	—	42
	現員	40	—	40
指定職	定員	7	1	8
	現員	6	1	7
医 (一)	定員	178	61	239
	現員	171	54	225
医 (二)	定員	116	51	167
	現員	114	47	161
医 (三)	定員	605	292	897
	現員	634	206	840
福祉職	定員	2	5	7
	現員	2	5	7
合計	定員	1,080	447	1,527
	現員	1,112	353	1,465

平成20・21年度予算 【国立国際医療センター戸山病院】

(単位：千円)

	歳 出			歳 入				
	区 分	平成20年度 予 算 額	平成21年度 予 算 額	差引増▲減額	区 分	平成20年度 予 算 額	平成21年度 予 算 額	差引増▲減額
戸 山 病 院	(項) 政策医療推進費	20,918,899	22,302,457	1,383,558	診 療 収 入	16,750,750	16,554,755	▲ 195,995
	(項) 医療技術開発等研究費	849,830	849,830	0	積 立 金 受 入	320,000	123,317	▲ 196,683
	国 債 整 理 繰 入	2,149,591	2,085,610	▲ 63,981	医 療 技 術 開 発 等 研 究 収 入	1,033,779	1,033,779	0
	予 備 費	0	0	0	雑 収 入	117,635	118,989	1,354
	計	23,918,320	25,237,897	1,319,577	一 般 会 計 受 入	5,696,156	7,407,057	1,710,901
看 護 大	(項) 政策医療推進費	1,084,015	853,107	▲ 230,908	雑 収 入	274,784	276,284	1,500
	計	1,084,015	853,107	▲ 230,908	一 般 会 計 受 入	809,231	576,823	▲ 232,408
	計	1,084,015	853,107	▲ 230,908	計	1,084,015	853,107	▲ 230,908
施 設 費	(項) 施設整備費	3,513,740	1,929,198	▲ 1,584,542	積 立 金 受 入	0	0	0
	特別施設整備費	3,415,876	631,832	▲ 2,784,044	借 入 金	3,415,876	631,832	▲ 2,784,044
	そ の 他	97,864	1,297,366	1,199,502	雑 収 入	0	0	0
	計	3,513,740	1,929,198	▲ 1,584,542	一 般 会 計 受 入	97,864	1,297,366	1,199,502
合 計	合 計	28,516,075	28,020,202	▲ 495,873	合 計	28,516,075	28,020,202	▲ 495,873
					(再 掲) 積 立 金 受 入	320,000	123,317	▲ 196,683
					(再 掲) 雑 収 入	392,419	395,273	2,854
					(再 掲) 一 般 会 計 受 入	6,603,251	9,281,246	2,677,995
					繰 入 率(%)	23.16	33.12	

平成20・21年度予算 【国立国際医療センター-国府台病院】

(単位：千円)

	歳 出				歳 入			
	区 分	平成20年度 予 算 額	平成21年度 予 算 額	差引増▲減額	区 分	平成20年度 予 算 額	平成21年度 予 算 額	差引増▲減額
国 府 台 病 院	(項) 政策医療推進費	5,870,905	5,846,440	▲ 24,465	診 療 収 入	5,024,636	4,268,157	▲ 756,479
	(項) 医療技術開発等研究費	62,768	76,750	13,982	積 立 金 受 入	100,000	31,796	▲ 68,204
	国債整理繰入	388,315	374,799	▲ 13,516	医療技術開発等研究収入	72,598	98,011	25,413
	予 備 費	0	0	0	雑 収 入	36,195	35,549	▲ 646
	計	6,321,988	6,297,989	▲ 23,999	一 般 会 計 受 入	1,088,559	1,864,476	775,917
看 護 大	(項) 政策医療推進費	0	0	0	雑 収 入	0	0	0
	計	0	0	0	一 般 会 計 受 入	0	0	0
					計	0	0	0
施 設 費	(項) 施設整備費	3,026,772	877,519	▲ 2,149,253	積 立 金 受 入	0	0	0
	特別施設整備費	173,655	0	▲ 173,655	借 入 金	173,655		▲ 173,655
	そ の 他	2,853,117	877,519	▲ 1,975,598	雑 収 入	0	0	0
	計	3,026,772	877,519	▲ 2,149,253	一 般 会 計 受 入	2,853,117	877,519	▲ 1,975,598
合 計	合 計	9,348,760	7,175,508	▲ 2,173,252	計	3,026,772	877,519	▲ 2,149,253
					合 計	9,348,760	7,175,508	▲ 2,173,252
					(再掲) 積 立 金 受 入	100,000	31,796	▲ 68,204
					(再掲) 雑 収 入	36,195	35,549	▲ 646
					(再掲) 一 般 会 計 受 入	3,941,676	2,741,995	▲ 1,199,681
				繰 入 率(%)	42.16	38.21		